学校番号	410

令和３年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術３	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「美術Ⅲ」（光村図書）						
副教材等	使用なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自然や自己などを深く見つめて主題を考える「絵画・彫刻」、生活を美しく豊かにする「デザイン」、美術作品のよさや美しさを理解する「鑑賞」の分野について学習します。表現材料を工夫して、創造的で個性豊かな表現を探求します。また、親しみのある芸術作品について学び、多様な表現形式についての知識を深めましょう。

２　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	・制作に意欲的な態度で取り組んでいる。 ・美術作品や作家に関心をもち主体的に鑑賞している。	・想像力を働かせてアイデアを構想している。 ・目的や機能を考慮したデザインの構想を練っている。	・個性豊かで創造的な表現に取り組んでいる。 ・意図を持って表現方法や画材を選択し、その特徴を活用している。	・美術作品のよさや美しさを主体的に味わっている。 ・美術文化への理解を深めたり、美術が社会で果たす役割について考えたりしている。
評価方法	・授業に取り組む様子 ・美術作品や作家などの知識理解	・作品制作の様子 ・アイデアスケッチ ・提出作品	・提出作品 ・作品制作の様子	・合評会でのプレゼンテーション ・ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	ポートフォリオ	【デザイン】 ・パネル制作(私の取り扱い説明書) 【鑑賞】 ・作品合評会	○ ○	○	○	○	a:情報伝達とデザインの特性について興味を持っている。 b:作品と自己の関わりから、デザインの構想を練っている。 c:丁寧に美しく仕上げている。 c:表現したい内容が明確に伝わる画面構成や配色である。 d:自他の作品のよさについて感じ取っている。	提出作品 アイデアスケッチ 振り返りのプリント 合評会でのプレゼンテーション 作品制作の様子
2	視点と表現	【絵画・デザイン】 ・透視図法 ・鳥瞰図	○ ○	○ ○	○		a:作品が様々な視点から描かれることに気づき、興味を持っている。 b:目的に合わせて、透視図法や鳥瞰図等の表現方法を選択し、表現の構想を練っている。 c:透視図法で、正確に表現しようとしている。	
	日本美術と画材	【鑑賞】 ・野派、琳派等の鑑賞 【絵画】 ・日本画画材による表現			○	○	d:日本の美術文化について理解を深めている。 c:日本画画材について知り、水干絵の具や箔貼りの技法について理解している。	
2～3	絵巻物の表現	【鑑賞】 ・鳥獣戯画等巻物の観賞 【絵画】 ・絵巻物の制作(わたしの一週間)	○	○	○	○	a:日本の美術文化について興味を持っている。 b:テーマに合った表現の構想を練っている。 c:絵巻物に用いられる技法を活用して、創造的な作品を制作している。 d:作品のよさを味わったりすることができる。	提出作品 スケッチ 振り返りのプリント 作品制作の様子 ワークシート

3	空間と表現	【彫刻】 ・万博のシンボル（大阪・関西万博をイメージした塔の制作）		○	○	○	b：シンボルにふさわしい塔の表現の構想を練っている。 c：イメージに合った素材を選択し、表現している。 d：万博と美術文化の関わりについて考察している。	出作品 アイデアスケッチ 作品制作の様子

※　表中の観点について　a：美術への関心・意欲・態度　　b：発想や構想の能力
　　c：創造的な技能　　d：鑑賞の能力

※　年間指導計画　作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。